

船舶事故調査報告書

平成27年4月30日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 庄 司 邦 昭（部会長）
 委員 小須田 敏
 委員 根 本 美 奈

事故種類	衝突（かき筏 ^{いかだ} ）
発生日時	平成26年7月26日 21時20分ごろ
発生場所	広島県広島港 広島港西防波堤灯台から真方位285° 2,800m付近 （概位 北緯34° 21.05′ 東経132° 25.54′）
事故調査の経過	平成26年7月29日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	プレジャーボート アクセス、5トン未満 280-26574広島、株式会社ベストナビ 7.60m (Lr) × 1.90m × 0.97m、FRP ディーゼル機関、191.2kW、不詳
乗組員等に関する情報	船長 男性 35歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 平成21年7月22日 免許証交付日 平成26年7月18日 （平成31年7月21日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	本船 船底部に擦過傷 かき筏 かき筏1台に破損、かき筏を固定するワイヤに破損
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、知人6人が同乗し、広島港で行われた広島みなと夢花火大会の観覧を終え、帰港のため船長が操船して航行中、平成26年7月26日21時20分ごろ、広島市江波沖町南方沖に設置されたかき筏に衝突し、同筏上に乗り揚げた。 （付図1 事故発生場所概略図 参照）
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南西、風力 3、視界 良好 海象：潮汐 高潮時
その他の事項	本船が衝突したかき筏は、縦約20m、横約10mであり、直径約20～25cm、長さ約7～8mの竹で組まれており、かき筏10台を1連として5連が設置され、1連を直径24mm、長さ約300mのワイヤロープで固定し、ワイヤロープの両端に重量約10tの錨が取り付けられていた。

	<p>かき筏5連の北東端及び南東端には、それぞれ以下の諸元の標識灯が設置されていた。</p> <p>灯 色 黄色</p> <p>光達距離 約5.5km</p> <p>灯 質 毎4秒に1閃光</p> <p>広島みなと夢花火大会開催に当たり、主催者である広島祭委員会は、そのホームページに広島海上保安部と連名で、航泊禁止区域、かき筏設置区域及び衝突・乗揚海難発生地域を示した「花火大会海域付近の概要図」を掲載し、以下の事項等を周知していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレジャーボート等小型船舶での観覧は自粛してください。 ・花火が終了すると帰る船舶で大変混雑しますので、他の船舶に注意して、速力を落として航行してください。衝突・乗揚海難が多発しています。 ・事故防止のために次の事項を守ってください。 <ol style="list-style-type: none"> ① 見張りを十分に行うこと ② 移動時は速力を落とすこと ③ 停泊灯、航海灯を点灯すること ④ 救命胴衣を着用すること ⑤ 飲酒運転は厳に慎むこと ⑥ 花火終了後は、観覧船が少なくなってから航行すること
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>本船は、広島港を航行中、かき筏に衝突したものと考えられるが、船長から情報が得られなかったため、衝突に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、夜間、本船が、広島港を航行中、かき筏に衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航行中は、常時適切な見張りを行うこと。

付図1 事故発生場所概略図

